

令和6年8月某日

調布市長様
調布市生活文化スポーツ部長様
多様性社会・男女共同参画推進課長様
調布市各会派 市議様

調布LGBT&アライの会
代表 棚木めぐみ

令和7年度予算における、多様な性と生き方に関する要望書

調布市における、性的マイノリティー当事者数は少なく見積もって 7 千人です。そしてその大半がクローゼット※です。彼らのQOL改善および、ジェンダー平等、多様な性と生き方に関する施策として、以下の要望をいたします。(※クローゼット…マイノリティーである自身の性自認や性的指向を公にしていないこと)

記

1、【LGBT ユース世代のサポートのために、「にじーず多摩」との連携】

多摩地区では、「にじーず多摩」による 11 市ネット(清瀬市、国立市、小金井市、国分寺市、小平市、多摩市、東村山市、日野市、府中市、町田市、武蔵村山市)が存在します。11 市ネットは、日本一の規模を誇る LGBT イベントである、東京レインボープライドで毎年、ブースも出展しています。(写真①) 10代から23歳までの若者世代の連携をはかり、共同してユース世代のサポートにあたっています。是非、調布市も11市ネットに加入し、12市ネットとして連携しユース世代のサポートを行ってください。(担当部署:多様性社会・男女共同参画推進課)

2、【職員向けガイドラインの作成 または 他団体のハンドブックの活用】

職員向けの独自のガイドラインの作成または、他団体作成のハンドブック(例 認定 NPO 法人 Rebit が無償公開している、「自治体 LGBTQ/SOGIEでできることハンドブック」)を活用されるなどし、職員の、性の多様性に関する理解増進に尽力してください。(担当部署:多様性社会・男女共同参画推進課)

3、【市民向けリーフレット等の作成・パートナーシップ宣誓制度の PR】

性の多様性に関する、市民向けのリーフレット等の作成を望みます。昨年に開始された市のパートナーシップ宣誓制度の認知度が低いため、リーフレット内にその詳細を掲載してください。リーフレットのデータ(PDF)を市のホームページ内で公開し、常時誰でも読めるようにしてください。また、リーフレット作成時には内容が一人歩きしないよう、当事者の意見を反映させてください。(担当部署:多様性社会・男女共同参画推進課)

4、【6月のプライド月間に、調布市としての姿勢を明示】

性の多様性を考える世界的な月間である、プライド月間(6月)に、市民と直接対応する窓口に小さなレインボーフラッグを設置(写真②)・東京都が作成しているアライピンバッチ(写真③)を、窓口担当職員IDや胸ポケットにつける・PRポスターを市役所や市の関係部署に貼り出すなどし、市民の性の多様性への理解増進に尽力しているという、市としての姿勢を示してください。(担当部署:多様性社会・男女共同参画推進課)

5、【有事の際の、当事者への配慮】

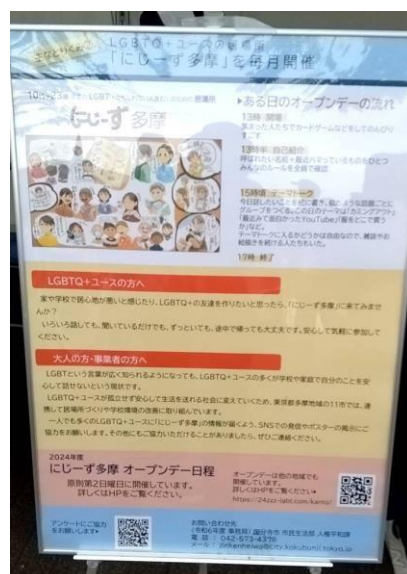
地震などの有事の際、避難所に多目的トイレの設営をしてください。着替えを行う際に女性・男性を問わずどなたでもプライバシーが守られるような、建物内の多目的テントの安全な設営の実施をお願いします。そしてそれらが性被害を助長させるものにならないよう、万全の体制で運営してください。男女を問わず必要な方に必要なもの(生理ナプキンなど)が行き渡るよう、避難所での差別やハラスメントが起きないような配慮をお願いします。避難所にアライ(性的マイノリティーの支援者)のスタッフを最低一人は配置してください。(担当部署:総合防災安全課)

6、【調布市と協働しての「性と生き方の多様性講座」等の開催】

コロナ後の今、市の男女参画イベントへの弊会の出展や、職員向けLGBT講座に弊社スタッフが講師を務める・市のトークイベントのゲストを担当するなど、行政と協働してのイベントが増えてきました。弊会は毎月、どなたでも無料で参加できる「性と生き方の多様性講座」のほか、毎月のSHG「にじいろお話し会」の開催、年に1度の自主上映会など、性の多様性の啓発をメインの業務としていますが、これらの業務の一部でもよいので、継続的な市との連携・協働しての開催・委託業務としての開催が叶うよう、検討してください。(担当部署:多様性社会・男女共同参画推進課)

以上

写真① 東京レインボープライドイベント時に展出した11市ネット
2024年4月20日～21日開催 2日間の動員数27万人



写真② 小さいサイズのレインボーフラッグ



写真③ 東京都のアライグッズ・ピンバッジ



補足 ……他市の PR 活動 町田市庁舎のライトアップ(2024 年 4 月)

